

THE KOBECOCO

APRIL 1973 NO.144

4



神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可
昭和48年4月1日印刷 通巻144号
昭和48年4月1日発行 毎月1回1日発行





婦人服飾
神戸

ベニヤ

NEW
CLASSICAL
FASHION

《女らしさの追求》

神戸

三宮センター街 391-5528・9

さんちかレディス・タウン 391-1204

大阪

梅田阪急三番街 372-8093

上本町近鉄百貨店3F 779-1231

ミナミ地下センター 213-6128

東京

日本橋東急百貨店1F 211-0511

モデル 浦谷 三世

PHOTO 藤原 保之

ミキモトは、たくさんの
愛のはじまりを知っています。
指を、胸を、髪を飾り
幸福の日々へ向って実っていく愛を。



—世界の宝石店—
MIKIMOTO

●神戸店—三ノ宮—神戸国際会館 TEL. 221-0062

●大阪支店—堂島—新大ビル TEL. 341-0247

●京都支店—河原町—錦雲師 BAL TEL. 241-2970

●大阪—高島屋・阪神・阪急・松坂屋・近鉄アベノ店

●本店—東京・銀座 TEL. 535-4611

© 1973

株式会社ミキモト



白い家 ナザレの海青い 船の色どり
七枚のスカートをはき重ねた娘 色とりどりの
モンペズボンの男 イワシを焼いてブドウ酒で食う
天下無敵の色どり

ナザレの魚売り
Masaru.96

神戸っ子'73

踊る妖精

加藤きよ子

モダンダンスカメラ・藤原保之

「私、踊っている時が一番楽しいのん!」と天心瀾漫に笑うのは関西でも数少ない若手モダンダンスの加藤きよ子さん。福岡で生まれ、12年前神戸の今岡領子舞踊団に入会。ダンスに生き、ダンスに命を賭ける彼女、三月二十四日には初めて自分で演出したモダンダンスを芦屋のルナホールで見事に演じた。「小柄な体を最大限に生かした踊りが最近できるようになった。訓練を積み重ねた踊り手だけに彼女は貴重な存在。これからが楽しみな踊り手です」と今岡さんの期待も大きい。今後は「女を踊りで表現できるようになるのが課題」といい、「思いっきり踊り狂いたいのとくたくたなく笑う。今は後輩の指導にあたる傍ら、六月（ルナホール）と九月（国際会館）の舞台にそなえて毎日若い汗を流している。

写真・三宮の今岡モダンダンス研究所にて



真珠とサファイヤのプローチWG ¥175,000

TASAKI PEARLS

◎本社 ●神戸市葺合区旗塚通6-9 TEL.231-3321 ◎さんプラザ店 ●神戸さんプラザビル3F TEL.391-4085 ◎パールファーム神戸 ●神戸市灘区六甲台町24 TEL.871-9289 ◎大阪プラザ店 ●大阪ホテルプラザ内 TEL.458-2449 ◎大阪心斎橋営業所 ●大阪市南区安堂寺橋通3-34 南大和ビル TEL.253-0165

田崎真珠

カタログご希望の方は上記までご連絡下さい ◎ あなたの真珠はパールマークのお店で日本真珠小売店協会

日本をうつす

小山 保

〔写真家〕カメラ・米田定蔵

スラックとした長身と鋭い目。対象を適確にとらえ、映像を鮮明にフィルムに焼きつける。

小山 保。44歳。13年程前からカメラを手にし、地元の写真家、堀内初太郎氏に師事、雑誌の月例コンテストなどに出品しながら腕を磨く。アマチュア時代は心象的な写真を撮っていたが、3年前「日本写真家協会」に入会、プロとしての道を歩みはじめる。小さい頃からものを作るのは好きで、一時詩を書いていたこともある。一昨年は車でシルクロードを通ってヨーロッパへ旅行し、その時の記録「アフガニスタン展」を神戸と東京で開いた。海外での体験が日本を見直す機会となり、「これからはもっと日本の風土を撮っていきたい。デイスカバー・ジャパンです」と抱負を語る。現在本誌にも「コウベ・ある視角」を連載中。ぐるっぺひょうたん所屬。兵庫区在住。



確信を持ってタジマの眼が選んだ
宝石の名品



白金ダイヤモンド
デザインリング



白金ダイヤモンド入り
エメラルドリング



白金ダイヤモンド
デザインリング

宝飾店
Tajima
タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に応じておりますのでお気軽
にご利用下さい。定休日は月曜日です。



ある集い★ 関西トーストマスターズクラブ

流暢な英語が表現力豊かな身振りを混えて、滔滔と述べられる。毎月二回、第二・第四火曜日の夜開かれる関西トーストマスターズクラブ例会の臨場風景だ。単なる社交クラブや、英会話クラブではなく、国際的視野と、豊富な知識の涵養とメンバー相互の心の交流を計ることを意図するクラブである。

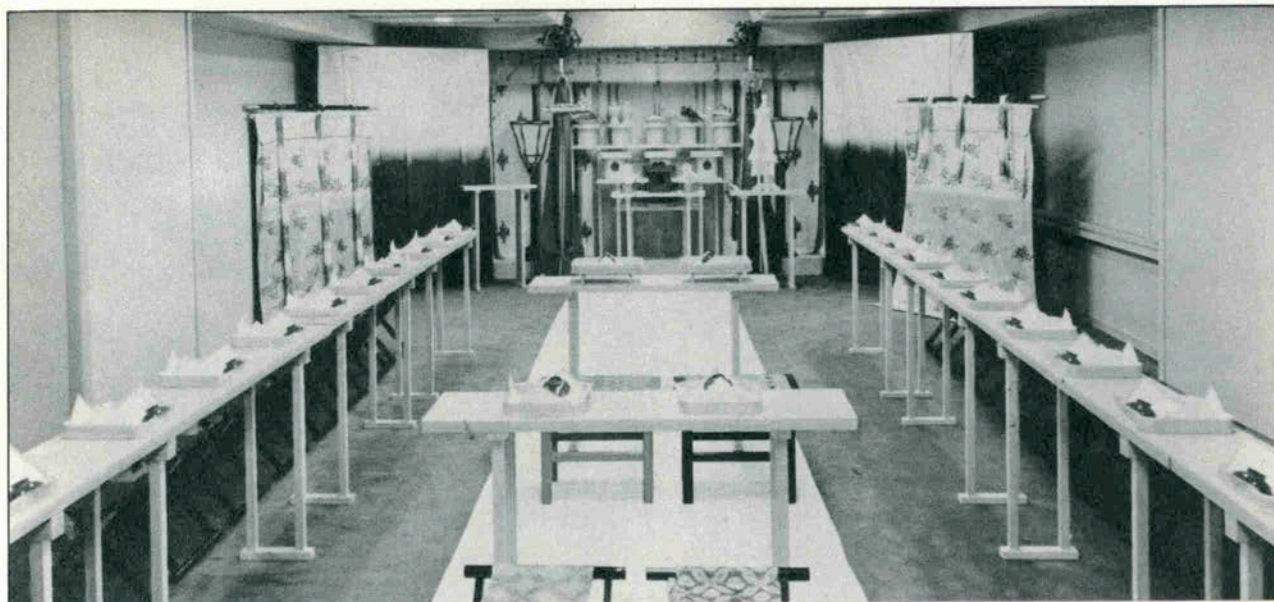
その日のスピーカーに対して批評をおこなう時にはあくまで、スピーカーに対して好意を以て評し、スピーカーもそれを快く取り入れ、次の回のスピーチの折には見事にその指摘された箇所は改められており、厳しい中にも和気合々とした雰囲気包まれている。

時にはパーティやバザーも催し、そのメンバーが国際的であるということもあって、風俗・風習の違いをも学びながら楽しく活動参加出来るクラブである。

★前列左より、門田弘敏、ナイスリ・J・G、池田龍雄、サミュエル・G・F、バーク・B・L、後列左より、岩崎嘉蔵、土岐峰、ワイッシュ、太田徳一郎、森田剛彰、関口秀男、才原敬志、山本照教、山根邦雄、田丸博治

(連絡場所)

東灘区北青木一丁目二ノ四八
池田龍雄・TEL(四三二)一三七三



晴れの日をより 豪華な思い出に

神戸タワーサイドホテル
結婚式場

ホテル6階……………
式場・着付室から写真室までゆき
とどいた設備が魅力。

挙式日のご宿泊は半額にご優待!

ご披露宴

お1人様 ￥2,500→￥5,000
(お料理・お飲物込み)

30名様セット ￥135,000

(挙式料・お料理・お飲物)
写真・卓上花・税サ込み)



阪神電鉄グループ

神戸タワーサイドホテル

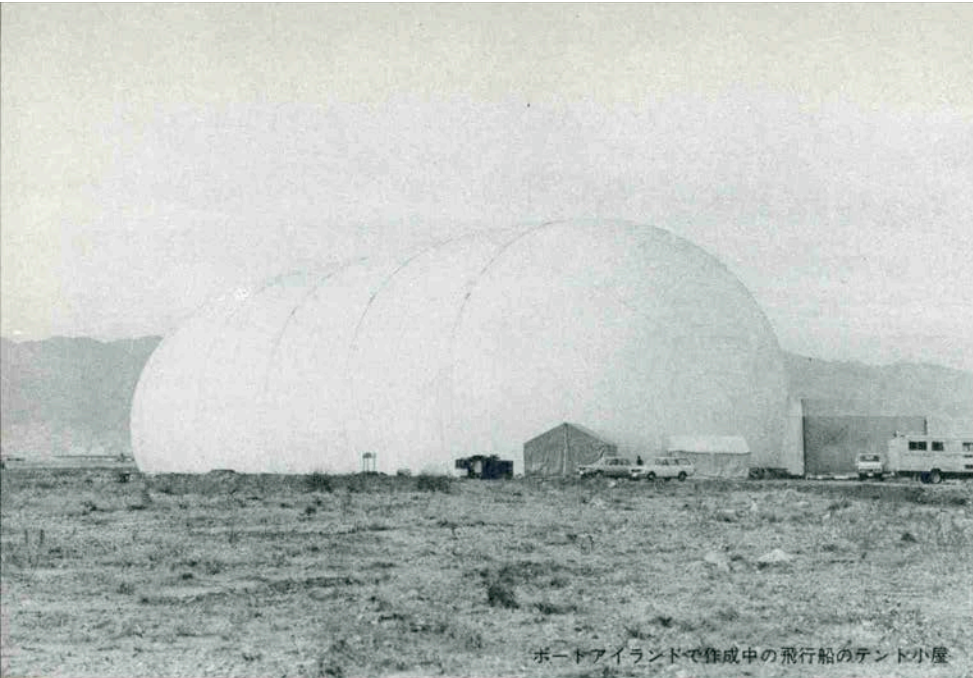
神戸市生田区波止場町1番地(中突堤)

TEL神戸(078)351-2151(大代表)

宴会予約直通 371-0433

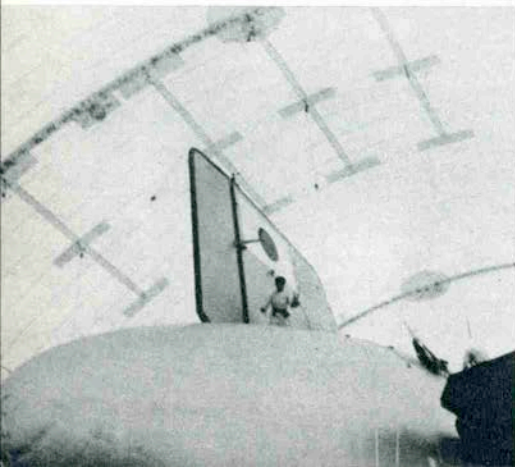
ゆるーんと飛行船春の空
機体に絵を描く
岡本太郎氏来神

コウベスナップ

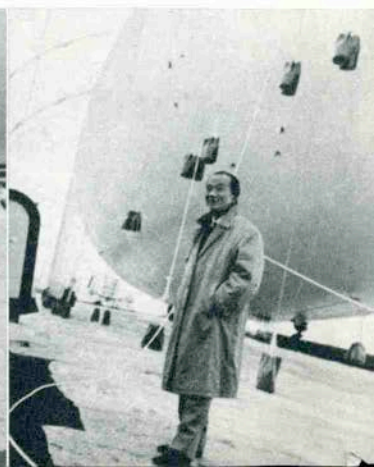


ポートアイランドで作成中の飛行船のテント小屋

かねてからポートアイランド沖に作成中の飛行船に岡本太郎氏が絵付けのため来神した。同氏は、白い雄々たる飛行船を、大きな空飛ぶ魚にしたて、太陽コロナの燃える焔の瞳を一際鮮やかにデザインした。4月初旬には、神戸のたゆとう春海みおろしながら、ゆるーん、ゆるーんと上ってゆく長閑にユーモラスな光景が見られそう。



飛行船の絵のデザインに熱中する岡本太郎



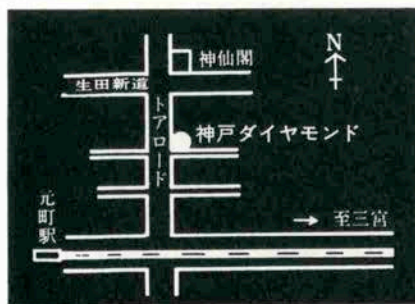
根雪路地に
薪を割る音
父居る音

〈三樹彦〉

高山郊外・飛驒の里



伊丹三樹彦の写俳シリーズ 5



トアロード



神戸ダイヤモンド

KOBE DIAMOND

TEL. 078 (331) 0690・2755・2397

★神戸っ子の楽しい花と太陽の祭典

’73神戸まつり5月19日20日

〈前夜祭／土曜・日曜日〉

’73 そごうのテーマ

歓びのうた
——“まつり”

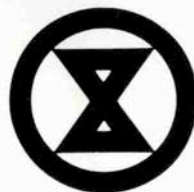


“青年広場にて”
’72神戸まつりより



中山 三津子さん

＜そごう＞の’73の統一テーマは＜歓びのうたまつり＞。すなおいに歓び、感動し、心と心のふれあい、歌い、笑い、踊るまつりは、歓びの場であり心のふるさとです。わたしたち従業員の一人一人は、毎日の応待、対話を通して、お客さまとの心のふれ合いを深めてゆき、ともにこの歓びを分かち合いたいと思っております。



SOGO
SANNOMIYA KOBE

神戸のディテール

Detail of KOBE 〈2〉

石阪 春生

写真／杉尾友士郎



巴里



●メニュー

2F カウンター

スコッチウイ

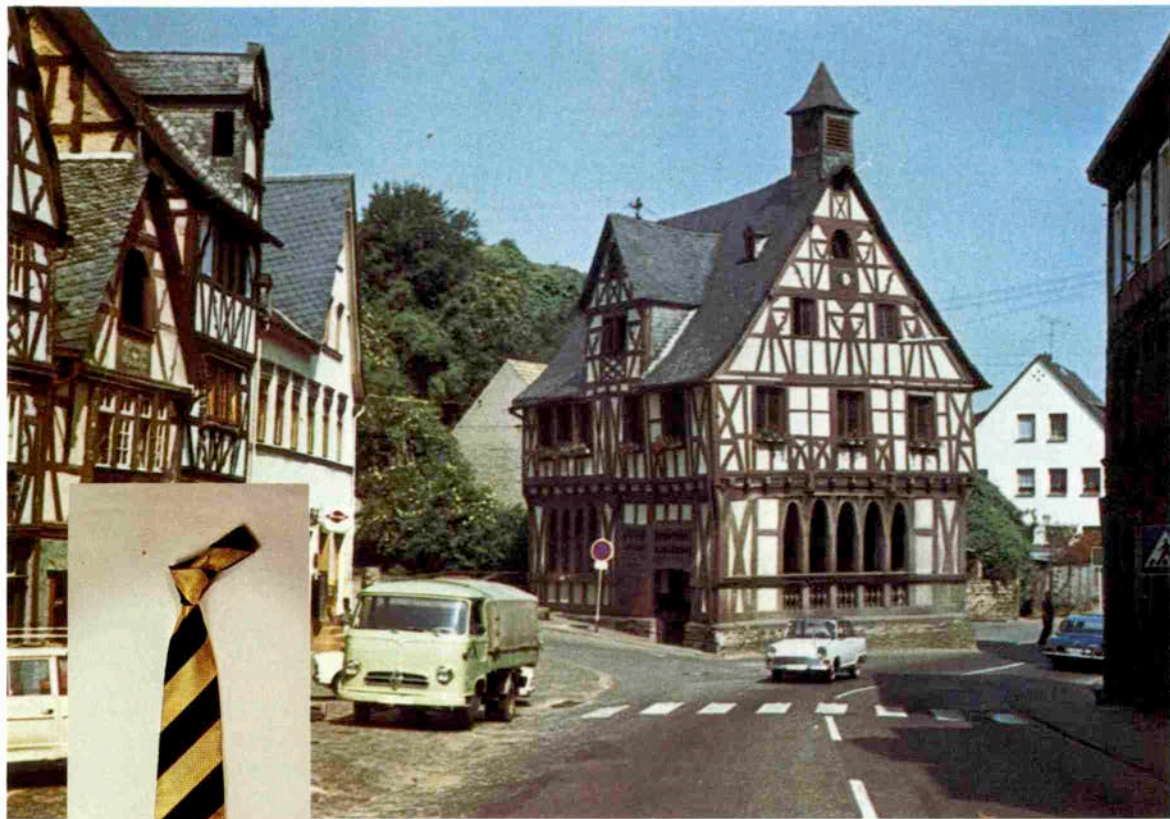
コニャックフ

3F

スコッチウイ

コニャックフ

西ドイツの旅<14> Rhens



HAMBURG



ネクタイの

元町バザー

神戸元町1丁目 TEL331-1401・7031

東京  東急百貨店

渋谷本店／日本橋店

■にしむらとエトランゼ® アメリカ

ロバート・オースミスさん（ノースウエスト航空大阪マネージャー）

にしむら珈琲は神戸の味がする

センター街にしむらにて



宮水COFFEEの

にしむら 珈琲店

中山手本店〈中山手1丁目電停前〉221-1872 午前8時30分-午後11時

石屋川店〈阪神石屋川駅浜側〉841-0763 午前8時-午後10時

センター街店〈三宮センター街〉391-0669 午前10時-午後10時

Thoughtful
Gentleman

アメリカンに情熱

燃やす三浦さん

三 浦 清 さん
〈神戸マリン商事社長〉

関西アメリカンフットボール協会の副会長として後輩の育成に余念のない三浦さん。スポーティーな着こなしも堂に入ったものだがブレザー、スラックスともウネを愛用とのこと。今日もグラウンドに三浦さんの厳しい眼が光る。

カメラ/藤原保之 磯上グラウンドにて

世界のオシャレをおとどける

ウネ

神戸元町1丁目 TEL 331-3112
東急百貨店 渋谷店・日本橋店



これは神戸を愛する人々の雑誌です。
 あなたがくらしに楽しい夢をおくる
 神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
 これは神戸っ子の手帖です。

4月号 目次

表紙／小磯良平(部分)

SECOND COVER／私は外へ出へ見た44中西 勝

神戸っ子73／加藤きよ子・小山 保

ある集い／トーストマスターズクラブ

コウベスナップ／飛行船

神戸のディテールへ2

わたしの意見／田中一光

随想三題／浅木幸雄／堀郁子／田中

ある集いその足あと

れんさい随想①／橋本憲吉

れんさい随想②／津高和一

随想／志村雅久

神戸っ子座談会／難波 還／福富芳美

煙 専一 郎

MY KOBE ④ 筒井康隆

経済ポケットジャーナル

元永定正／新谷瑋紀／森本泰好／貝原六一

芦原博之／松谷 一／浅田 一／岡部誠一

飯田 守／細川数夫／板野惇子／竹馬澤之助

技術ジャーナル／諸岡博熊

ボエム・ド・コウベ／伊勢田史郎

エレガンス・コウベ

週末フアッション／若林輝雄

恋占い

北神戸を歩く／多聞寺のお塔まつり／黒部 亨

座談会／岡本太郎／川上努／板野惇子

神戸のアーバン・モダンリビング

神戸遊戯誌 114 投輪会①青木重雄

動物園飼育日記／亀井一成

パントマイムジュニア／岡田 淳

淀長立見席／淀川長治

女性百景／H・ジュニア

びっといん

神戸百店会だより

ポケットジャーナル

連載小説 異人館物語／小山牧子・え石阪春生

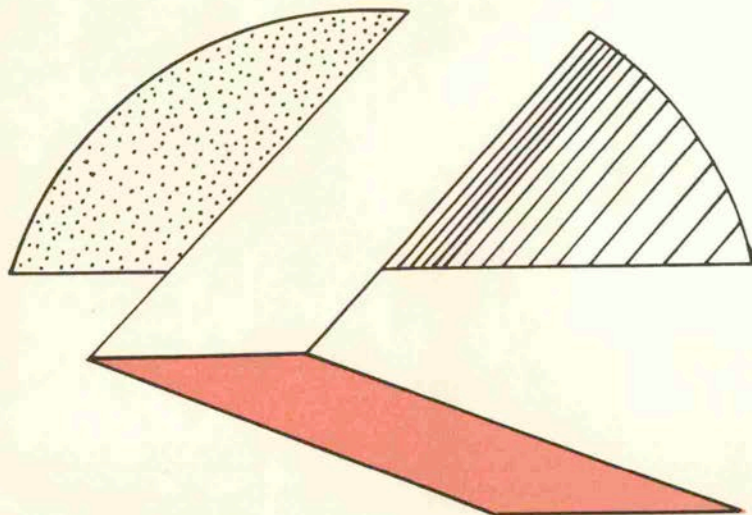
連載小説 曲線ハイウェイ／武田繁太郎・え模塚 繁

神戸の催物こあんない

SPOT ある視覚／小山 保

海・船・港／練習船「銀河丸」を訪ねて

カット 松谷武判
 カメラ 米田定蔵 藤原保之



matsutani

やさしくってあま〜い春なのです。

Something
&
me

東京・キンザ
San-ai | 三愛

三宮店 センター街さんプラザビル2-3F
AM11:00~PM8:00 ☎391・6861

□わたしの意見

神戸の街と ファッション

田中 一光

〈グラフィックデザイナー〉



ファッションとは旺盛な感受性のうえにはじめて成りたつもので、私は次の二つがファッションを触発させることのできる大きな要因だと思う。

一つは、異質、未体験のもの、つまり珍しいことへの好奇心。もう一つは、アンチテーゼ、既存の画一的なものへの反発である。こうしたことが軸となって、創られ、変化し、そして共感する多くの人たちのエネルギーによって、ファッションは生れてゆく。

神戸は明治以後、海からの異国文化の荷揚げの場として、ながいあいだ日本の近代文明の窓口であった。翻訳まえの、なまの原著の重みと、それを選ぶ眼が神戸にはあった。しかも、神戸のファッションは、単に情報にとどまることがない。外国人が神戸の街に住みつくことによって、彼らの日常生活の中から、風習や伝統、思考まで、その西欧文化全体を吸収していった。だから、神戸のファッションが、関西の他の都市とは大きく異っていて、色や柄や型が、「ニュー」であると同時に、そのこなしの見事さでも「トップ」であった。つまり、ファッション、人間、環境の三つが、えもいわれぬアカぬけた調和をつくっていた。しかし、情報が電波に変わり、国際的な交流は、船から飛行機へと移りつつある現在、日本のファッションをリードしていた神戸の位置は、次第にむずかしくなつてゆく。ファッションは元来、民衆のなかから自然発生的に生れてくるものであったが、マスプロ、マスコミの時代になつて人工的に演出されるものになり、それが現代では、その二つの区別がつかない現象がおこっている。それは、企業が大量生産する画一的なものに、若い世代が反抗しはじめたからだ。ロンドンのヒッピーが、ケンジントンに独特なマーケットをつくったりしているのも、その表れである。つまりファッション多様化の時代だ。ともあれ、明治以降、海外のさまざまな文化を受け入れ、ファッションに対する鋭い選択眼を培ってきた神戸の街は、再びファッション都市への可能性を十二分に秘めているといえるであらう。

ひとつの時に生きる二人のための
ロンジン・ペアウォッチ



ロンジンのペア・ウォッチは二人の心を結ぶ
ロマンチックな時計です。

最も種類がそろっているロンジンのペアウォッチ
からお好みのタイプをお選びください。

LONGINES

特約店



美甲時計店

元町店・元町三丁目 TEL331-1798

三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL331-8798

LONGINES

Ref. 8361: ¥47,000

Ref. 8363: ¥47,000

随想三題



カット／大石可久也

フランス

第二の故郷

浅木幸雄

〈北野クラブディレクター〉



フランス モン ドウージャム

パトリ―純粹の神戸っ子である私が、試験のためにフランス、リヨンに出発したのは今から九年前のことだった。

私は、甲南大学を卒業すると同時に、家業をつがず一人憧れの地であったフランス、リヨンへと希望に胸をふくらませて飛び出した。とはいうものの、不安と期待がまじりあったものではあった。

案の定、フランスに着いた私を待ち受けていたのは、語学力（フランス語）に対する失望感とフランス人の個人主義に対する不満感であった。

私のフランス語が通じたのは、パリのホテルのフロントだけ。リヨンに着いたところで例の失望感と不満感が増すばかりである。

まず、リヨンのブロン空港よりリオン大学へタクシーに乗ったのであるが、口頭では通じないのでその大学より届いていたパンフレットを見せて始めてエンジンをスタートさせるありさま。そうしてたどりついたのは大学の正門で、それから入学手続きをしていた法学部の建物まで、大きな荷物をかかえて歩く私には一時間が五時間以上にも感じられた。

入学手続きもすんなり受付けられたわけではない。フランス語が通じないので、少しはましだった英語で話すところからしく、いろいろの手続きが進んでいくのだが返答はフランス語のみ。最後にアブリケーションホームへの記入については、少し離れた机に陣取

り、辞書をひきながらようやく完成、それを五、六カ所も訂正されて、まずまず入学、とあいになったのである。

その最初の旅行には母が同行したが、私のもたつきぶりを見て異国の地に一人で私を残すことの心配は、当の私がその後に対して抱いた不安よりは、はるかに大きなものだったと思う。

日本人がリオンに住んでいることすら知らない私の生活は、このようにして始まっていった。フランス語を話さねば生きていけない。だから、日本語をできる限り頭の中から追い払い、考えないようにした結果、三カ月で一応いいたいことは何とか伝えられるようになり夢もフランス語になった。

そうした苦勞が今の私を支えているところが多いのはいうまでもないことだ。また、二年半に渡る滞在中、フランス、リオン市は私に神戸では勉強できなかったことを数えきれない程教えてくれた。まず、神戸を離れて神戸を見ること、日本とヨーロッパのエチケツト、マナーの隔り、利己主義ではない個人主義の物の考え方 etc ……。それらを総括しての感想は、日本人とヨーロッパ人は子供と大人のように思えるということになるだろうか。

しかし、その日本にあっても、

海外へ目を向けることに関しては一番進んでいる神戸、それは神戸っ子としてもおおいに誇れるところであろう。願わくば、もつとも情報産業の中心に、また、世界の玄関口として大きく豊かに発展して欲しいものだ。

パリ・ローマの旅

堀 郁子

（シャンソン歌手）

パリのことは、何度も歌いつづけてきた。『パリの空の下』『パリ野郎』『モンマルトルの丘』『ラセーヌ』『ミラボー橋』……。

私は日本を飛び立って冬のパリの街に立っていた。パリのことは、すべて語りつくされ聞きつくされていたけど、先ず自分の目で見たパリは、やはり素敵！

朝早くおり立ってまずバスに乗り、市内の有名な場所を廻る。かねて神戸から約束していた二人のカップルの結婚式——すでにエアフランスの機長さんにシャンペンを頂いてきた二人だけど、同行のメンバーより、栗塚旭さんにお願いでバスの中全員四十名の見守る所で簡単に式をすることになり『アヴェマリア』『愛の讃歌』を歌う。バスの運転手も、私も一曲と『小さな幸福』というシャンソ

ンを歌いながら、車を走らせてくれた。まず、歌で初まった今回の旅——。

私は、エッフェル塔や、凱旋門それに日曜日だったので、ミサの響き渡るノートルダム寺院、セーヌ河を何とも言えぬ感激をもつて眺めた。そして夜のパリ、ネオンのない街灯だけの街並——それにくつきりと夜空に浮ぶ色々の建築物——。文化遺産のすばらしさをつくづくと思った。リドのショーも面白く一米七五厘以上のダンサーは性別不明の人もいるとのこと。

次の日のパリは雨だった。『小雨降る径』とシャンソンにあるように、誰も傘もささずに歩いている。私も友人とシャンゼリゼやサントノール、サンジェルマンデュプレの方を何時間も歩き廻った。夜、待望のシャンソニエを訪れよ



ローマの店イルカバリエルでの楽しいひととき 中央堀さん

うと、モンマルトルの方に車を走らせたけど、バターシユも、ラパンアジルも、月曜日でお休み。

この夜、パリに住んでいる、かつて私が神戸でシャンソンを教えたことのある女性に再会し、彼女の案内で、カボウ・デ・ズブリエツトという、地下の酒場を訪れる。いかにも何かのありそうな暗い酒場、しかし陽気なシャンソン歌手四人がピアノ伴奏で、めいめいのレパートリーを歌ってくれた。特にビロードの赤いベレとズボンの老シャンソニエの『モンパリ』は気に入った。私もここで何となく『枯葉』を歌い、テレビアンといって大いに拍手を受けた。まだまだどこかへ行きたいという私を無理にホテルに連れて帰って、明日からのローマの旅にそなえることにした。

ローマの夜、食事を楽しみながらカントオーネを聞かせる店、イルカバリエルでは、日本人の客も多く、可愛い歌手が日本語で上手に『喝采』を歌ったのには驚いた。私も負けじと、『ラ・ノヴィア』を歌い、また、オペラ歌手の出現で店は大いに湧きヴァンルージュが少々廻って来て楽しく皆と歌った。次の日、馬車でとことこ二時間ほどローマの街を散歩したり、グッチイの店で買物をしたり『ローマは一日にして成らず』と

思いいつつ歩いた。ローマ最後の夜は魚料理が自慢のコースセットイデの食事」。仏語、伊語、日本語色々混ぜてオーダーする、ジャボン、メロン、えび、貝等とても美味だった。それにまた、カンツォーネ歌手とともに『マレキアーレ』等唄い、美人で私より数倍大きい(?)歌手がきれいな節廻しで、アモーレミオを歌ってくれた。この店を出る時、チャオ・アモーレと皆が拍手して送り出してくれた。楽しい旅だった。

ファッションの源

田中益雄

〈神戸大丸婦人服部長〉



昨年十月に第一回の出張を命ぜられて百日ぶりに、再び第二回目のイタリアへの商品買付け出張をした。

特にモード品の買付けであるにも拘らず、フランスを素通りしてイタリアー主体に絞りさらにミラノ・フィレンツェの二都市とその周辺のみに行動範囲を限ったのは、

いろんな理由があるけれどもまず輸入後の販売展開を考えた場合にファッション性と同時に販売価格とその量が当然問題になるわけでヨーロッパ内でも高級品消費国としての位置づけの高いフランスに比較し、最近ファッション衣料関係の生産国の立場としてそのモードが注目されてきたイタリアーメード、その中でも特に都市としてのあらゆる魅力を秘めているミラノ・フィレンツェの二都市はショッピングタウンとしても参考にするとこころ大であろうとの分析からであった。

結論からみると、二回で延べ二十日余りの日程という限られた条件下ではあったが期待通りの答が掴めつつあるような気がしている。

さらに帰国後に神戸市がファッション都市宣言を政策強化の面から打ち出され、ファッション衣料産地としての産業振興とショッピングタウンとしての都市づくりをはじめ、数々のポリシイを具現化されつつあることを知った。国際港都のもつ異国情緒性と昔から洋服の着こなしの巧みな神戸女性の持つフィーリングが、イタリアーの中堅都市であるミラノと似かよったところが数多くあるように感じたし、現にフランスモード発祥地パリに於ける婦人服飾コレクション

ンのうちニット関係のミラノメード、絹関係のフィレンツェメードの全体に占める比率が年々高まってきていることや、日本からの旅行者がビジネス面からもショッピングの面からもさらには情報吸収の場としてもミラノに深い関心が向けられつつあるのではないかといった観測からも、京都とフィレンツェの関係以上に神戸とミラノの結びつきに注目をしていきたい。またファッションとは常に華やいだもの、目だつものとしてばかりの分析ではなくシニエアーなクリンなものとしての志向はいつの時代にも底流にあるものという考えを持っている。今後とも商品づくりに個性の発揮、オリジナリテイの具現化を目ざす意味から、遠視眼的に海外情報をよみとることから、直接体験的にフィーリングとして掴みとる努力を続けねば意味合いが薄れると思う。今後は素材の良さ、素材を活かすカラー、生活にマッチした着こなしといったものも外地からおおいに学びと提供していきたい。

今後輸入品の比重がさらに大きくなり、それゆえに重要な要素を持つだけにセンスと工業力のバランスを彼の地のどこに求めるか、また、どんな分業化があるかといったことも常日頃の研究課題とし精進を続けたいと思っている。

□ある集いその足あと 私達のK・T・C

池田 龍雄
〈今年度K・T・C〉



K・T・C 例会風景

関西トーストマスターズ・クラブは一九六五年秋に、K・門田、G・R・ケマニ、N・S・ワス、F・A・セレス等の有志が寄つて阪神地域にもトーストマスターズ・クラブを作つて英語によるパブリック・スピーキングの訓練をする場を持つたことに始まり、当時のステグマイヤー米国総領事の肝入りで同年十二月下旬に正式にクラブとして発足したわけでした。

世代の断絶などが話題になるこの頃ですが、年輩者も若者もそれを打破して相互理解をするには先ずコミュニケーションをよくしなければならぬ。また、日本人対外国人の立場で考えてみてもコミュニケーションがなければ理解の糸口もない、と言うわけで、トースト

マスターズ・クラブは Good thinking, good listening and good speaking をモットーにして遠慮なく自分の意見を述べてもらう場となつてゐるのです。組織化された現代社会においても総てのことはその代表たる人対人で始まり、究極においても人対人でまとめられていくものでいかに個人の持つ心、個人の使う言葉のニュアンスが重要な役割を果たすかは大方の人が経験していることだと思ひます。その個人の精神と技術を養ひブラッシュアップするのがトーストマスターズ・クラブの役目なのです。アメリカのカリフォルニア州サンタアナに本部があり、全世界に何千とクラブがあつて皆同じ目的で運営されてゐます。

ミーティングではまず当日の司会者が選ばれ、初めから終了時まで司会を引受けます。前半は座談会で座長になつた者が会員にある話題の質問をしたり意見を求めたりすると、指名された会員は立つて答えるのですが、これは何の準備もなしに自分の意見を二分間にまとめるのです。社会人として活躍しようとする人々にとつて極めて有用な訓練になると思ひます。次に、前以て準備したスピーチを三人位が行いますが、これは五分から七分、場合によつては十分、十二分もあり、いかに

聴衆に訴えるような魅力あるスピーチをするかが競われ、スピーチに対しては評者が選ばれて講評をします。講評そのものも重要なパブリック・スピーキングと見られます。

ゲストは常に二、三名から四、五名ありますがこれ等の人々が競外感を味わうようなことがあつてはいけないうので注意が払われ、アットホームな、しかも連帯感を持つような気分になつてもらうよう努めてゐます。男子ばかりの会なので時にはレディーズナイトとして奥さんやガールフレンド同伴の会を持つこともあり、また、レクリエーション・パーティーを催すこともあり、相互間の親善を図つてゐます。このクラブは社交クラブではなく、パブリック・スピーキングを通じて生活の幅を広くし、ものの見方、考え方を高めるのが目的ですが同時に社交の基本である好意、親切、人種の無差別等を知らず知らずの間に感じ取り、学び、身につけることができると思ひます。

在阪神の紳士諸兄、試みに一回でも私達のミーティングに御参加下さい。女性も会員となることはできませんが参加は自由ですから淑女諸姉も御遠慮なくいらして下さい。会員一同期待しております。



近代的な
立体駐車場
150台OK



●普通車30分＝¥100

スピーディな駐車 親切な応待—

- 冷房完備・TV付の
待ち合い室もあります。
- あさ8時——よる10時(日・祭日営業)



末積株式会社

神戸市葦合区磯辺通4丁目6番地ノ2

TEL 078 (221) 9 8 8 7

